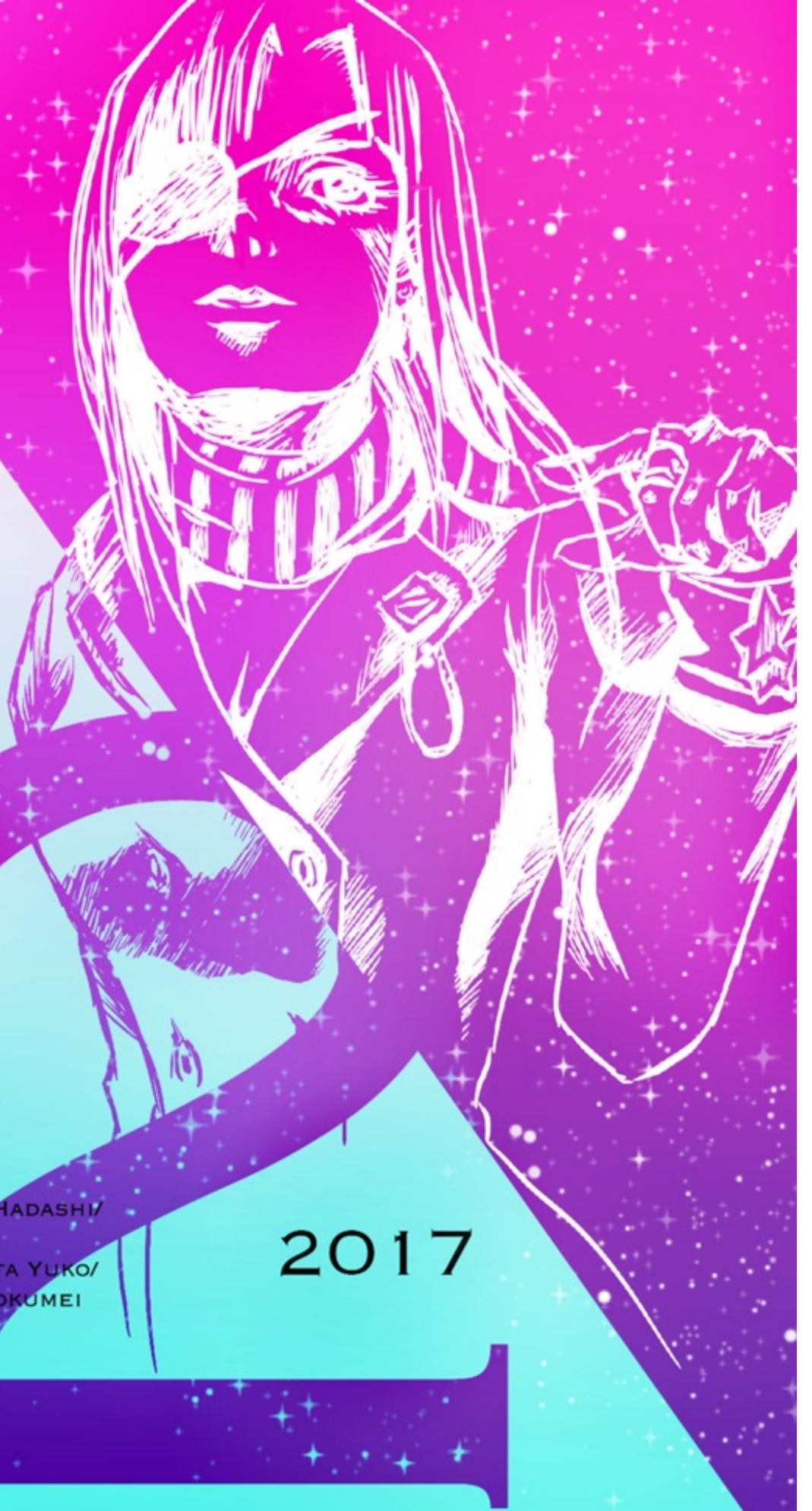


なんたる星

NANTARUHOSHI :
KOIWOSHITEIRU/UKAI/HADASHI/
NICEGUY/SCOPE/
ISHADO HITOSHI/KAGATA YUKO/
YONEDA KAZUO/SHINTOKUMEI

2017



【目次】

連作

酪農・・・はだし

つめたいおふろば・・・加賀田優子

起立斉唱知人サンバ・・・迂回

宇宙ガラス・・・スコラブ

ブランチショッピング・・・ナイス害

戦評

編集後記

なんたる星



NANTARUHOSHI :
KOIWOSHITEIRU/UKAI/HADASHI/
NICEGUY/SCOPE/
ISHADO HITOSHI/KAGATA YUKO/
YONEDA KAZUO/SHINTOKUMEI

2017

3RD
ANNIVERSARY

酪農 はだし

他人の、昔のハワイ旅行の写真みるのすごく好きかもしれない

タコの実験でよくみかける、瓶にはいった蟹って なんなんだろうな

鈴木奈々、そういう期待にも応えなきゃ にみえてつらくなってきた

ビーサンは流されてって その後の川遊びって感じだ、しごと

「ありがたいよね」酪農のDVDみたあとの 廊下、せまかったな

祭事って 好きなんだろうなって人ばっかだと、安心するけどね

入ったらいけない貯水池の柵を跨いだ子から結婚してく

お守りで押さえたカップヌードルのふたが開いてる あったかそうに

つめたいお風呂ば

加賀田優子

なくしたらはいれないのはふしぎだなどこでも開くような気がするのに
こうしているうちに喉まで水がきてきもちいいのが勝とうとしてる

だれもみていないからって体温が移ってくるような動きは嫌

警察にいけば済むけど履くものがサンダル・サンダル・ビーチサンダル

新月に雨 汚れた窓枠に雨 濃すぎたカップラーメンに雨

おにーさんおひとりですかカフェエラテのホット凍ってるじゃないですか

テーブルに味覚があると仮定したばかりですけどタバスコをこぼす

いつせーのせーので指を上げあつて知らない人のその指も指

朗読をする宣言の翌日にそんな高値で髪の毛を売る

やいおまえその空き缶とこの無垢で純粋なポイントを交換だ

回つてる犬の形の看板は止まつてる方が犬！で好きだよ

おねえさん神に祈らない方法で温泉サークル潰しませんか

ごめんねをいうタイミング見失う程度の仲だ ギャグみたいにジャケットを脱ぐ

ルールからルールを渡り歩いてるエアあやとりがだんだん見える

断層 もしなれたとき はみ出してついついてもらうための骨折

宇宙ガラス

スコラブ

すぐれない心地のように霧は立ち管制塔の頭を呑んで / きみが忘れるまで生きるスナートニク2号と飛んだばかりの心臓 / とよりも儼れたいのちがあるのなら多分そいつは目には見えない / ミサーにかげられていく工程がスーパースローで進む人生 / むなしいね。「でも望んでた未来でしょう？」誰もがみんな？「公約数ね」 / 粉碎をされる定め of じゃんけん でどうせならばとグーを差し出す / 窓を割れ、アンプロマダを越えてゆけ。足許にある銀河に降らし。 / いきもの散る栞の傘を手に回転木馬のような抱擁 / うつくしいもの、真夏に雪が降る頃にだれも地上にいない光景 / 地球では観測不能の想いでもしもし JAXA はそらでうらうらうか / 宇宙塵となった身体できみの乗るジャトルの殻を叩きに行け

宇宙ガラス

戦

評

せん ぴょう

こんばんは、はだしです。

歌合

歌合(うたあわせ)とは、歌人を左右二組にわけ、その詠んだ歌を一番ごとに比べて優劣を争う遊び及び文芸批評の会。

審判役を判者(はんざ)、判定の詞(ことば)を判詞(はんし)という。(中略)役割は判者の他に方人(かたうど;歌を提出する者)、念人(おもいびと;自陣の歌を褒め、弁護する役)とがあり、左右両陣の念人による一種のディベートによって判者の判定を導くものである。 Wikipedia より

いきなりどうした何なんって感じですが、これちょっと面白そうですね、でもルール通りなら5人の予定あわせないといけない、この現代社会だと、なかなかむずくないっすか。人数いりすぎな気がする。ってことで、上記の歌合から方人をなくしました！ ようは判者役がもってきた一首をもとに、3人で歌合をやってみよう、という企画です。

ルールは簡単、判者役と念人役を決めたら、判者の持ってきた一首からそれぞれが評をひねりだし、ぶつけあう。判者はそれを聴いて、心に響いたほうを選ぶ！ そんなだけです。だから戦評。いやいやざっくりしすぎ、わからんわ！ って方は次ページ以降の(多少)踏み込んだルールへ。そんなんどうでもいいわ！ って方は本編へいっちゃっていいと思います！ いいと思う！

まあ、ひらたくいえばフリースタイルラップのバトルの短歌版って感じすかね。あるひとつのトラック(一首)をテーマにそれぞれが自由に言葉を展開していく、そういう感じ。その中でこんな技術使われてたんやとか、こんな視点あったのかみたいなのが共有できてったらいいっすね。意義ある時間にしたいっすもんねー。だから、持ちよる一首も「秀歌って言われてるけど好きちゃうな」ってものや「これは紹介したい！」みたいなのを持ってきても面白いかもしれませんー。



もうちょい踏み込んだルール

1. 判者1人と念人2人を決める



判者は制限時間とかやるのでけっこう忙しいです。タイマー的なアプリがあると便利かも

2. 判者は、お題となる一首を発表する

3. 10分間を準備時間とし、念人は一首についての意見をまとめる



判者は時間を測りつつ、先攻・後攻を決めたり好きなこと喋ったりしてください。休めるのはいまだけですぜ！

4. 10分経過後、判者は先攻・後攻を発表する



発表後、なるべくすぐ5へうつって下さい。先攻が焦って、おもしろいです

5. 先攻第一ターン開始。先攻の念人は評&論を最大で5分間述べる

6. 後攻第一ターン開始。後攻の念人は評&論&反論を最大で5分間述べる



判者は途中でなんかしゃべってもいい

7. 同様に第2ターンとして5, 6を繰り返す

8. 判者は判者はどちらの「評」がよかったかを判断し、判を述べる



えらぶ基準は自由です。論がしっかりしていた方でも、心に響いた方を選んでも。あとで判断した理由などを述べてもらおうと盛り上がります


以上



次ページ以降に、実際に星のメンバーでやってみたものを載せています。お時間ある時に読んでみて頂ければ幸いです。

一回戦


判者  はだし / 念人  加賀田優子  迂回

 では 歌の発表です

宇宙旅行に出るとき僕はてのひらを地球の方に見せるだろうな


／小関茂

今から10分間をシンキングなタイムにしますよろしいでしょうか？

 よっしゃ

 OKです

一回戦 シンキングなタイム（10分）

 はじめ
……間を埋めねば

読み返したらあれだな、携帯時間ズレてるな

ショック

 <https://youtu.be/xVi0jwNXe3A>

 近いんだ



そろそろかな



終了ー



gi-



ままままじょりていー



埋まってるおっさん、完全に銀魂の世界だな



言われてみれば



首！って一瞬混乱しました



majority と一くが楽しくなってしまうまえに、はじめますか



はい！



がががん



おっけー 先攻後攻、判者のちからつかわせてもらいますね



びんびんに感じる カ



先攻 加賀田さん 後攻 迂回さん で いきますでは
先攻加賀田さんの第一ターン

はじめ！

一回戦第一ターン（最大5分） 先攻 加賀田優子

加

えー、っと、、最終的にはこの人の見ている光景として、てのひらのほうが地球より大きくなっているところを想像しました。

だからつまり、「宇宙旅行」ってかわいいワードでだいぶポップ&親しみやすさをだしてるんですが、なんか結構『死』の感じがする。

加

ぼんやりあかるい死への憧憬。

加

その、あかるさ、というか、なんか死一な感じなのになげやり、ではないなー、という雰囲気が出てるなというのもおもしろいところで

加

それがでてる理由っていうのが

うちゅうりょこうに／でるときぼくは／てのひらを／ちきゅうのほうに／みせるだらうな

加

で、最初が七音、うちゅうりょこー、っていう音がのんびりしてて、あとでだんだんきっちり音数が増えていくから、丁寧っぽくきこえて、雑、なげやり、を免れて、あかるさになってるのではと。

加

ここら辺まで考えて、この歌に沿って考えると、たしかに宇宙ってまっくらなのにすごいあかるいものがあるって、おちつく感じがするなって。

加

だから、『死』のイメージがこの歌でほんのり書き換えられる効果があって

加

こういうかんじなら、いいじゃんね、死ぬの、となれるので、好きだな、と思いました

加

素朴な歌だと思うんですけど、じーっとみてるめっちゃひろがっていく

加

ぬるめのお茶・・・足湯・・・っぼい

です！！

は

終了――

迂

肘が飛んできたな

は

ありがとうございますー

もしいうことなかったら時間内で以上です、でしめてもよいですぜ

加

(その手が!) りょうかいです

は

そのコンパクトさが判者をうごかすかもしれない

迂

みじかくてつよいと、つよい…

は

うん

では迂回さんの第一ターンなんですけどその前に思ったことを

2ターンあるので、1ターン目にアンサーみたいなことやって2ターン目に持論で
たたきのめす
もありです

迂

最初にぜんぶ言わなくてもいいということね

加

かけひき!

は

ですね、駆け引き

なので迂回さんちょっと大変かもですが、お願いします

迂

gogo

は

待たせてすみません はじめますね
後攻迂回さんの第一ターン

はじめ！！

一回戦第一ターン（最大5分） 後攻 迂回

迂 まだ宇宙旅行に行ける見込みあるひとつで多くないと思うんだけど、妙に現実的に考えていそうな口ぶり。何かの予感、感覚、確信がありそうで、楽しく想像してそうなのどこか切実というか、絶対こうするなって思ってるんだろーとを感じる。行く予定はないので「こうしよう」にはならないんだろーな

迂 気になったとことしては「てのひら」を「見せる」、と言っている。地球は 見る ができる相手だと思っている。手を見せられるということは地球と顔も見合わせてるはずで、でも見せるのは顔じゃなくててのひら、だった。

迂 となると手の機能というか、手を見せたいこの人はなんでそうしたいんだろー、とおもってしまう。

迂 手はなにかをするため、他に影響を与えるための部位、という印象があって、そこを、見せている。おまえ（地球）の上でいろいろするために使ってた手を、お前に重ねる。

迂 口調からして全能感とかではないと思えて、そういう場としての地球と、そこで色々があった自分のその道具としての手、を見せてやることで、地球になにか思わせてやりたいんじゃないか、みたいな

迂 ちょっと複雑だけどおもしろい感覚があるかなとおもいました

は 終了-----

迂 げーん

は ありがとうございますー
では

先攻加賀田さんの第2ターン

はじめ！！

一回戦第二ターン（最大5分） 先攻 加賀田優子

加 そう、迂回さんが、手の使いかたの話をしてくださったんですけども、私が最初のターンでいきなり『死』！！って推したのは、もうそのまま「地球にてのひらを見せる」→「さよならのあいさつ」っていう、ところを思ったからなんです。

加 無意識的ホールドアップからの「降参！」っていう読みもおもしろいかな、って思いつつ、「てのひら」だけっぼいし、

加 なんか歌の雰囲気（落ち着き感）から、負けてはなさそうな感じがする。

加 ので、「じゃあ」っていうかんじのてのひら向け感、を思いました。
で、もうその手の温度とかも、地球には届きませんよっていうような、

加 遠い光景をどうしてもこの歌には想像してしまっ、て、遠くのを眺める気の遠さ、遠さ、ぼんやりほんのり、時間も遅れてくるみたいになって、妙にやっぱり落ち着く

は 終了――

加 です――――
ヒィ・・・

迂 WOW WOW

は 受けて、の話きましたね いいですねいいですね
熱が冷めんうちにいきますか

迂

ぼんぼんいくと焦るので、焦らせてよいと思う

は

後攻迂回さんの第2ターン

はじめ！！

一回戦第二ターン（最大5分） 後攻 迂回

迂

死のイメージやお別れの断絶感は僕は読み取れなかった、というのがまずあって、「旅行」の守られている感というか、無事かえる前提なあたりがその根拠になりそうかなとおもう

迂

遠くに旅立つ的な意味で死の比喩に使うことはあるけど、旅行って言われると安全そう、みたいな

迂

ただそういう意味でつまりこの歌の論点になるのは手、てのひら、ってものの意味になるんだろうなとおもう

迂

てのひらを見せることが威嚇になる国とかだったらすごい解釈出そうだし

迂

手の機能、ただ素朴にてのひらを見せる、その万能性とか多様性を拡大してとらえれば人全体、みたいに思えるかもしれず

迂

そうすると地球に重ねるのはめっちゃ自然な気もしてくる

迂

「僕」にとってのてのひら、はそれでも、なんだかやさしい意味を持つんだろうな、というのは伝わってきて、しずかに楽しそうな歌、というのは変わらないかな

以上――

は

ありがとうございますー

迂 拳を軽くぶつけあって離れる加子・迂回

加 (コツツ) **迂** (トンツ)

は ふー

きめなくては

加 ドドドドド……

迂 判

判

は 判をいいます

迂回さんです！！！！

迂 woohhhhhhhhhhhhhhhhh

加 く……っ！！！！

ばたり

は 理由がむずいんですが…

加子さんは心から攻めてって、迂回さんは頭からという感じに思いました。
で、どちらも深めてってる感じ。

その核はなんだろうと考えて、加賀田さんは「死」で迂回さんは「てのひら」にあったのかなと読み取りました。

としたときに迂回さんはその「死」を揺らしにかかっているちょっと揺れた（個人的には）、逆に加賀田さんは「てのひら」をですよねーと肯定してより強くしたように思えて その差があるのかな、みたいなことを思った次第です。

以上――

加 ほは――

迂 殴るのをためらう やさしいやつからいなくなる せんじょうってやつは

加 ありがとうございました！

やってるときはいっぱいいいっぱいなので、判、をきいてなるほど、てなりますねこれは。

二回戦

判者 **加** 加賀田優子 / 念人 **迂** 迂回 **は** はだし

加 あ！じゃあもう歌の発表・・・しますね、

コンビニがお母さんみたいで泣けてくるこんな時間にカレー食べてる
／ゆめうら

はい！じゃあ十分間シンキングタイム
で！

迂 woo

は よっしゃ

二回戦 シンキングなタイム（10分）

加 このあいだに、あみだくじをつくって
どちらが先かきめます

加 あみだくじー、あみだくじー

加 ↓→↓←↓↓
→↓→↓→

加 <https://youtu.be/9xVP0mZi4Wk>

加 たららららったーたらららー

加 ↓←↓
→↑→↑→

加 ↓↓↓

加 はい！しゅーりょーです！

迂 あみだくじの様子おもしろいな

は すごい

加 だ、いじょうぶですか?? 順番発表します！

迂回さん先のはだしさん後、です！

迂

うおお

は

びゃー

加

なんか時間みるのが難しいですね・・・！！

は

判者あるあるー

迂

くっ、判者あるあるがすでに

加

あるある！

と、いうわけでではでは、迂回さんターン
いきましょう、

はじめー！

二回戦第一ターン（最大5分） 先攻 迂回

迂

まずコンビニとお母さんの重ね合わせというのがぱっとみえる。夜遅くに自分用のカレーとっといってくれるお母さんみたいに食べ物を、もちろんカレーも売ってくれるよねコンビニって、という図。

迂

泣けてくる、というのが真ん中に置いてあり、これはどストレートな感情の吐露。母親に対して泣く、て良い感情を込めがちな構成なので、感謝とかありがたい、とかの意味の涙と取ればずっと意味は通る

迂

あとお母さんみたいで と二句字余りさせていて、 母さんみたいでとすれば音は合うのにそうしないのは、母親の呼び方って個々人にすごい固着して変えられないものっていう、母への絶対感のような表現なのかとおもった

迂

さてこの泣けてくる、はほんとに感謝なのか、というのがおそらくは、ポイント、なのだと思う

迂

怪しめる理由としては、こんな時間にカレー食べてる がコンビニとも母親とも独立してるように見えること だろう

加

終了ー！

迂

半端に区切る作戦ですし！！！！

加

カンカンカンカン

は

これではんぶん…

加

手に汗握りますね！では、はだしさんのターン…

はじめー！

二回戦第一ターン（最大5分） 後攻 はだし

は

コンビニってなんでだろう、と。下句から舞台を夜としたとき、いつまでも明るいし何でも揃ってるので、そこがお母さんの万能感みてえなものに繋がるんかと思いました。やさしい、ある種過保護みたいな。

は

それに対して泣いてしまうということは、逆説的にそういう存在がない、もしくは遠くにあることを表してるのかな、と読みました。

は

じぶんはここに強烈なひとり感をみました

は

で、こんな時間にカレー食べてる、が来る。これは自分にある常識のちいさな破壊に思います。夜中だし。カレーってスパイスが効いていたりするし、重いから。

加 終了————
カカンカン

は 届けきれないー

迂 鐘にリズムつけだした

加 かなりさくさくいってしまってますが大丈夫ですかね・・・！！

は 判を楽しんでる

迂 いいリズム

加 よかった・たのしいはらはらです
で、は、迂回さんの第二ターン・・・

はじめ————

二回戦第二ターン（最大5分） 先攻 迂回

迂 こんな時間にカレー食べてる は、主体にとってかなり不思議というか変なこと、という自覚がある行為に読めた。それは真夜中なのかもしれないし早朝なのかもしれないけど、あり得ない行為みたいに感じている。

迂 それを可能にしてくれる存在というのがつまりコンビニであり、お母さんだった、ということではないか

迂 あり得ない、を提供してくれる存在。小さいころはおそらくそれは母親しかいなかった。でもたぶん、コンビニで真夜中にカレー買って食べたり自由を得たりするころ（一人暮らし始めたり）に気づくのは、それってめったにない特殊なことじゃんということ

迂 そういう存在が母親であったという気付きと、コンビニって形で夜に存在しちゃってるという気付き。

迂 この涙、「驚き」なんじゃないだろうか。ありえねー、変なの、意味不明過ぎる みたいな

迂 それは同時に母親って概念の強力さも、コンビニって現代の業態のやばさも表していて、単なる重ね合わせじゃない複雑な写し見がある気がする

加 終了——

迂 殴れなかった—————

加 カカーン

拳！拳！
どんどんですね・・・。
それでは、はだしさんの第二ターン、

はじめー！

二回戦第二ターン（最大5分） 後攻 はだし

は ありえない行為を許すのってお母さんかなという思いがあります、ここの差はあれど

は 夜中にカレーはむしろお父さんの役割な気がする

は この一首はふたつ現在形があって

は

すが

どちらを取るかになってくる中で迂回さんはお母さんによせたとおもうんで

は

じぶんはカレー食べてるほうにいま現在をかんじます

は

おかあさんは付随してくるものなんではなかかと

は

さっき、カレーはちいさな破壊みたいなことを言ったんですが

は

なく)

そのひりひりさを、お母さんみたいなコンビニを思う (だからコンビニでは

ことで引き立てようとしてる そのため

加

終了――

は

うお――

そのため――

迂

無情な鐘

加

カキーン・・・!

おふたりともありがとうございます・・・!!!

判、悩む・・・・・・・・

迂

判は制限ないので悩み放題ですね

加

ちょっと、まってくださいね・・・

は

判者あるある 悩む きたー



ジャンルとして成熟している 判者あるある

判



う-----

でも発表します！！

勝者

迂回さん！！



きた…



が-----ん

ばたり



超、なやみますねこれは……………
選基準の方を説明しますと……………



大事なとこ



迂回さんもお母さんもお母さんがありえないをありえるにする、万能感、
というのではだいたいおなじところをみていて、

で、たぶん迂回さんはカレーをお母さんの補強、お母さんはお母さんをカレーの
補強として考えていった

個人的には迂回さんと読みが似ていたもので、お母さんの方が視点としては惹かれ
たんですが

時間内にそれが伝わらなかった・・・ということ
迂回さんに旗をあげた次第です・・・
です!!!

迂 あぶなかったぜ

は ストップウォッチ的なものめー

迂 文としてはだしのが簡潔にまとまっていたし、言い切られてたら負けていた
…か

加 可能性はありますね・・・

は 言いきれていたら…

加 時間制限が勝敗をわけの、勝負！！っぽいですね——

迂 カレーを食う主体がその現在の生、とはたしかに考えていなかった
ので視点！となりました

加 は一、判の方がすごい、汗をかきます

迂 お母さんを思うことによる独り感の涙→カレーによる自傷 か

は そうですね、自傷がお母さん感との対比みたいになってる、というか

は 時間に追われて、がないぶん余計に すかね

加 ですね・・・コタツを切りました

迂 おれも次回は汗を…

は 汗、是非

三回戦

判者 **迂** 迂回 / 念人 **は** はだし **伊** 伊舎堂仁

迂 (ルールざっくり説明中) はい、んで出して「開始！」から「終了！」の10分は念人は無言、で考えたりメモしたりしててね

では出すよ

伊 あい

迂 せっかくだし桃の噂もしておこう心に敷くと濡れる手紙で
／我妻俊樹

これで 10分
開始-----

三回戦 シンキングなタイム (10分)

迂 の、間判者はひまなので
先攻・後攻をきめたりしてます

迂 da da da

迂 コインを投げました

迂 いま5分ぐらい

迂 新潟は、なぜか日曜にジャンプが出ます
前の週のやつでなく

伊 散髪に行った帰りに買えるね

迂 なんでなんだろうな

迂 そのメリット はっとした

迂 鬼滅の刃好きだけどぜったい爆売れはしないだろという確信とでももしかして、という揺らぎがある

迂 あと1分

迂 終了-----
とめてとめて～

先攻：はだし 後攻：いしゃどう で
準備よければ、1ターン目始めます

は いきますんか

迂 はい では いくよ

伊 いちおうメモつくりました

迂 1ターン目 はだし 5分間（このあいだは伊舎堂もうすこし我慢）

はじめ-----

三回戦第一ターン（最大5分） 先攻 はだし

は

なんか楽しい雰囲気があって

は

なんだろうと

は

桃の噂ってたいしたことなさそう

は

それを言いたくなってる状況は

は

喋ってて乗ってきてるからかと

は

熱を帯びてきた感じ せっかくだしとかもあるし

は

でその楽しい感をもりあげるのが

迂

終わり-----

は

下の句

あかん

迂

タイムアップなので次に行ってしまう

1ターン目 いしゃどう 5分間

はじめ-----

三回戦第一ターン（最大5分） 後攻 伊舎堂仁

伊

桃の噂 を僕はしたことがないです。そういう人生時間で生きていないから。つまり、この歌の中で「しておこう」を言っている存在は、僕などとはちがった時間経過のなかでいきている超人間てきな存在なわけです。めちゃくちゃ時間がある。だから桃の噂 ができる。「手紙」の中で。

伊

で、「手紙」は手紙でもそこには「心に敷くと濡れる手紙で」という指定がある。これはさきほどの人生時間、のちがいに加えた、物質観のちがい、もそなえた超人間てきな存在であることを伝えているわけです。心に敷くと濡れるのか。って、心って、じゃあ濡れてるのか、的な了解をすっとぼして、「あの」心に敷くと濡れる手紙で、桃の噂話をしようと、言っている歌。桃は、どんな怖いことを言われてしまうのだろう。それにおびえる歌。

伊

超人間てきな存在の、その、書かれる前に短歌が終わってしまったことで気配だけしかわからない「こわーい」「桃の噂はなし」を想像できるいい歌です。

伊

楽しい感じ を受け取ろうとするためにはちょっと、双方向的な口調が足りなかなという感じはします。「しておこう」はそれこそ、事務的な口調な気がします。

伊

「桃」って字を見たときに思い浮かべる、あのまるい見た目なんかのポップさは想像しないで、口調と、事務的な誰か、をみに行ったほうが立ち上がるものは多い歌というのが僕の意見です。

伊

双方向的な口調 は、なんだか楽しそうな2人がいそうな感じ、くらいにとらえてください。

迂

終わり-----

この分量

では

2ターン目 はだし 5分間

はじめ-----

三回戦第二ターン（最大5分） 先攻 はだし

は

心に敷くと濡れるっていうのは 閉まっておくと濡れて読めなくなる

は

仕舞って

は

のではと思うんです だからその逆

は

仕舞わないで出してしまうおう全部 心のうちを

は

みたいな感じに思えて

は

それはもう喋る、ではないか に自分はいったんですね

迂

owar i -----

さてさて～

なお言うことなくなったら 終わリー と自分でいってもよいです
では2ターン目 いしゃどう 5分間

はじめ-----

三回戦第二ターン（最大5分） 後攻 伊舎堂仁

伊

うおおー

伊

しまっておくと濡れてしまう という読みの進め方をいただいたうえで、心のなか というものの話に移ると

伊

心のなかに置いても濡れない素材の紙、というものがある（と考えられている）んじゃないか、ということです。

伊

このひとたちのなかでは

伊

「桃の噂」の書かれたほう紙のほうが濡れて、だめになるのがはやい。この、呪術的なルールというか、節理の立て方にひかれるものがあります。

伊

「ぜんぶしゃべってしまおう」という行為にはちょっと明るさがありすぎるるように感じて、桃の噂の書かれた手紙がぐじゅぐじゅになっていく景（けい）のいやさを手ぬるいものにしてしまう、と考えます。

迂

おわり-----

おつ～～

伊

ぜえっ ぜえっ

は

ぐふっ

判

迂

以上 でバトル終了、判者の判をちょっとまってね……

はい

勝者 いしゃどう～～～

伊

ぜえぜえ！（やせてるのにがんばるやつ）

迂

これはカロリーをつかう

は

パンチの重さ

伊

これはうれしいね

迂

まあこれは、はだしがおそらく咀嚼しきれなかった、言い切れなかったという部分も多いんですが

わりと僕も「桃」のポジティブさに寄った読みをしていて、怖さ・空恐ろしさみたいなところの感覚は見てなかったのほ～ でした

伊

～～

迂

「しておこう」について言えば僕としてはけっこうウキウキ感も感じたりするところではあるんですが

濡れる→痛む→桃 みたいな生っぽい嫌さ、も合わせるとなるほど

と、共感でいうとそれぞれにあったんですが、きっちり言ってきっちり殴りたいしやどうの勝ちでしょう ということでした

伊

たしかに、したい話題が多すぎるうきうきが「しておこう」を選ぶこともあるかなとは今の言われて思いました

迂

が～っと考えると色々出てきて、それがよいな～ というゲーム

伊

ゲーム

迂

うえい

伊

あがつまさんの歌をうきうき読み出来れば、だいが目立てると思いますよ

最終戦

判者 **伊** 伊舎堂仁 / 念人 **は** はだし **迂** 迂回

迂 じゃあまあもう1戦くらいやれたらやりましょうか

伊 サカキのジム

迂 サイホーン
いしゃどう 判やれそう？or やりたい？

伊 サカキのジムの電気代

は あっ

伊 はっ 迂回さんをやればいんですね?? いまさっきの

迂 そうです！

伊 わかりました。やらしてもらいます。ちょっと歌変えますね、

迂 おし

伊 そいではいきます

こっから10分、よろしくおねがいします。それでは歌

そののちの朝焼けの中日常に似た場所ばかり踏んで帰った

／中澤系

おねがいします～～～

最終戦 シンキングなタイム（10分）

伊

さあ～さあ～

最近はずんずん雨が降らないですね～～

さあ～～さあ～～

ちんぽの本おれも買ったよ～～～～

迂

感想読みて～

伊

1か月くらい経って「買ったよバブル」が落ち着いたころ腹にたまるやつかけたらいいよ～～～

頭ひとつ抜けれるよ～～

は

読みたい

伊

なんたる星「ちんぽ」号 やるっしょ

2分前!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

迂

ちんぽ号

伊

ネットでバズった書籍とか曲とかばっかりトリビュートする集団になってもよさげよ～

迂

性質としては、輩…

伊

商業主義・・

迂

株主総会に乗り込みそう

伊

壇上からこんにちは

よし！ シンキング終了

迂

thought

伊

迂回さん先行 はだしさん後攻で 5分ずつ。

迂

yosi

は

すごい集団ん

伊

レディー

ゴー！

最終戦第一ターン（最大5分） 先攻 迂回

迂

「そののち」。なんの後？となるんだけど、ここにいてもわからないので先にすすむ。「朝焼け」を歩くのは明らかに日常で、それでも日常ではない、「日常に似た場所」を選びとって帰ったという。ひどく非日常的な「その」を過ごして、まだその世界が続いているような。

迂

霞がかった非日常、のもやが視界にかかり、その向こうに日常があるはず、という信じる心が、「日常に似た場所」を選ばせる。

迂

ぼーっとした頭と朝焼けの組み合わせがずるいほど幻想的なんだけど、この人自身が異世界にまだいるとすると、歌にほんとの日常 がなくなってしまう。誰かのつくったようなものじゃない、ほんとの幻想が残る。

迂

「帰った」の向こう側にあるのだろう日常も、ひとかけも見えないまま完結し、異世界のまま閉じた歌。主体の姿は輪郭がなくて、それをただ眺めている、ていう自分を味わえる歌。

伊

！ TIME UP ！

迂

up

伊

なるほどなるほど。入り口を示して番をこなしたという空気ですね。では次にはだしさん

よろしくおねがいします！

最終戦第一ターン（最大5分） 後攻 はだし

は

えーと

は

日常に似た場所を踏むって行為はなんか失ったものを取り戻して康っていう意思を感じます

は

そのためのおまじないみたいな、しかも子どもっぽい

は

その はたぶんそれをせねばならないくらいでかい何かだったんだと思います

は

その の前と後で全く変わってしまった

は

取り戻そうとする方法がおもしろくて、でも

は

そのことが逆にこの人は強烈に後の側にいるんだなと思えて



せつないす



! TIME UP !

なるほどなるほど。「その」を『まあ、みなさんで』
的に流して 霏がかかる景を提示しにいった迂回さんと、

「ではなぜ『踏んで』なのか」というところから「子どもっぽさ」というワードを
引き出してきたはだしさんとでワンポイントワンポイントという印象です。迂回さん
の「後ろから見てる感じ」というのも印象ぶかい？

それでは、後半ラウンド、迂回さん
スタート～

最終戦第二ターン（最大5分） 先攻 迂回



「その」についてはわりともうよさそうだな



「踏んで帰った」におまじない感を覚えるのはおそらく横断歩道の白いとこ
渡る、とかそういう連想だと思うんだけど、それだと「その」を具体的になにか示
すか、せめて匂わす方が破壊力出るのでは と思った



「その」からやってきて「帰った」でいなくなるこの人、ってなんかぜんぜ
ん触れなさそうな感じがして、その遠さがなにか、おまじないでなんとかしたい、み
たいな身近さを覚えさすには違うという感覚がある



朝焼けを背景にするのも相当ずるいというかきれいすぎる感じなんだけど、
ナマっぽさをそういう構造から排除していく技からすればアリだなちくしょう とい
う気持ちになり



いいよもうおまえに朝焼けあげるよ となりました



! TIME UP !

では

とくに挟まずに、最後の5分はだしさんおねがいします！

最終戦第二ターン（最大5分） 後攻 はだし

は

そののちの朝焼け は したあとの朝日 に近いんではないか
と思いました

は

朝焼けもおわすとして機能しないすかね

は

景というより説明として

は

童卒？

伊

☆TIMEUP☆

なるほど～なるほど～

迂

童卒タイムアップ

は

はずかしい

迂

息を整えましょう

判

伊

「その」からやってきて「帰った」でいなくなるこの人、ってなんかぜんぜん
触れなさそうな感じがして、 に代表されると思いますけど、もうまったく人間味、
をこの短歌の登場人物に見たくない、そのうえで朝焼けを思い浮かべたい、のが迂回
さん説で

朝帰り、という新味を歌にあてがってみて、人間味を足そうと健闘したのがはだし
説だったかなという印象です。

で、これは読みの精度で勝ち負けがきまるっていう勝負よりかは、中澤の一首が迂回さんはだしさんどちらの実作に近いか？という相性の問題に終始したような、そういうのが裏に張り付いていた一戦だったと思うわけです。わりと躊躇なく人間味を消去できる迂回さんか、「それでも」のところで人間味勝負をするはだしか。

なので、勝敗を言う前に、おれもうちょっと歌かんがえればよかった！という言いわけだけすいません。ということで

迂回さんの読みで読みたいかな、と思った迂回さんのかちで！

迂

今回も、苦しいたたかいであった…

ありがとうございました 相性 そうかも

伊

なんというか、歌選びの仕方がわかるよな、ケーススタディーな一戦でした。

ふう

は

人を入れたくなくなっちゃいますね

迂

すごいセックスの後読みだとすごいセックスだったんだなあってなって、なんか嫌よなあ とか思ってた

は

えらい方向にハンドルきってしまいました

迂

でもそれが自然な気もするんだよな

伊

中澤さんを読むときに、帰ってる中澤さんになってみて考える、ってのはたぶんあまり開拓されてない中澤読みの分野なんで切り開く、とこからしないといけないつらさはあるんですよ

は

そうなんですね

伊

遠巻きに見て、その景にやだなあとか悲しいなあ、とか読んでもらうような作りなのかな。とい気がこの一首についてはします。ナレーションぽさあるし。

【編集後記】

こたつにどこまでもいることができます。

一人のときは、向こう側に足を貫き通すことができ、つまりここから向こうまでは自分しかありません。

熱があります。ちょっと熱すぎるかもしれない。
でも動けません。

遠くで皿が割れました。外国かもしれない。

他にもいるときは、きっと向こう側まで足を貫くことはできません。

中はなんだか複雑な様相を呈し、自分以外、以外、以外が区別なく存在し、熱に馴染んで熱になります。中がどんなふうになってるのか見ることというのはできなくて、めくったらそこはお部屋であって中ではないから。

枕に噛みつく。成人式みたい。

わからないところに身体をつっこんで、少しだけいなくなります。見たら、多分いる。
でもいないかもしれない。だから、どこまでもいるんです。

朝になりました。いつまでも。

2017 2/8 迂回

Eat cucumbers, because it contains a lot of light——

執筆者

加賀田優子 ([@Occak](#))
スコラブ ([@scope scape](#))
ナイス害 ([@NiceGuuuy](#))
はだし ([@sunsetsan0](#))
伊舎堂仁 ([@hito genom](#))
迂回 ([@ukaian](#))

なんたる星2月号
発行日：2017年2月8日
編集発行人：迂回、加賀田優子
企画：はだし
表紙：スコラブ
Twitter：[@nantaruhoshi](#)
Mail：nantaruhoshi@excite.co.jp